NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を見つめて

2．学校名

北海道釧路市立鶴野小学校

3．実践者名（代表者名）

和泉　勝夫

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　35人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞を見つめて」(情報活動)

7．目標（狙い）

身近に起こった社会問題で興味を持った内容ごとにグループを作り、相手にくわしく伝えるために考えを整理してまとめ、新聞を作成する。

8．評価の視点

自分たちが作った新聞を発表し、それぞれ視点の良さや感想について自分なりの考えを持つ。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

みんなで作ろう未来の車　12時間
調べたことをまとめる　8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

身近に起こった社会問題で興味を持った内容ごとにグループを作り、身近な話題から興味を持ったことをくわしく相手に伝えるために、考えを整理してまとめて書き新聞づくりをする。
(1)毎日の朝学習の中に、身近に起こった社会問題で興味を持ったことをプリントに記入し、課題を見つける。
(2)課題について自分が分かるように調べる(事実をくわしくする=新聞の手法に気づかせる)。
(3)共通な課題を持った子と内容ごとにグループを作り、調べたことを友だちと話し合い、その内容を辞書を使って知り、自分の言葉で簡単にまとめ、感想を付ける。
(4)書いたことを基に新聞づくりとして発信する。
(5)クラスで発表会を行い、それぞれの視点の良さや感想について意見交換し、自分の作成した新聞づくりの自己評価をする。
(留意点)
(1)新聞のテーマは自由とし、どんな記事があったのか、どのようなことでも興味を持った話題などをプリントに記入していく。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分たちの興味を持った内容からテーマを選ぶことにより楽しく進めることができた。難しい言葉が並んでいたり、新聞特有の言葉などに苦慮しながら、友達に分かるように新聞記事を構成していた。また新聞づくりをしてみたいと思った子、模造紙ではなくファックス用紙で作成したい子など意見はあったが、新聞作成を楽しん

12．成果と課題

近年、新聞を取っていない家庭が増えたり、子どもたちの活字離れが進んできている背景から、自分の考えを相手に伝える方法としての新聞づくりは、(1)社会への関心・興味を持つことができる、(2)記事を自分の言葉に直して相手に伝える相手意識を持つことができる、(3)新聞の特徴や構成など様々な情報を子どもたちに提供できると感じた。しかし、活字の難しさは子どもたちの壁となっているので、教師の一層の支援が必要であることを実感した。